

学級担任のまなざし 01

Okayama Prefectural Education Center

R2.6.8 [Mon]

「言葉を添える」

ある小学校を訪問し、授業参観をしていたときのことで
す。

算数の授業でした。担任の先生がプリントを配っていました。縦列の一番前の児童に、列の人数分のプリントを渡しました。そのとき、担任は小さな声で「どうぞ。」と言って渡しました。渡された児童は「ありがとうございます。」と小さな声で言って、受け取りました。そして、後ろの友達に「どうぞ。」と言って渡しました。

次の児童も「ありがとう。」と言って受け取って、後ろの友達に「どうぞ。」と言って…。これを一番後ろまで繰り返していました。どの列の児童も小さな声で、同じようにしていました。

「どうぞ。」「ありがとう。」という言葉がとても自然でした。「どうぞ、と言わなくっちゃ」とか「ありがとう、って言う決まりになっているから」というのではなく、ごく当たり前のように、そうした言葉を発しているように感じました。ちょっとした言葉を添えると、教室の雰囲気は温かくなります。

小さなことですが、しっかり指導されていたことがうかがえます。最初は担任の働きかけがあったのですが、毎日の積み重ねの結果、良い振る舞いとして児童に身についたのだと思いました。